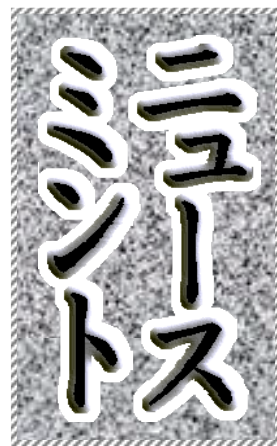


電子教材・ムービーボックス キッズ を使った 学級担任(HRT)によるモジュール授業 開始



東中野小学校英語活動の取り組み



第5号

2008年10月17日(金)

発行所

ミニント学習教室

〒370-0013 群馬県
高崎市萩原町 950-31
Tel/Fax 027-353-1091

紙面案内

記事	連載	特集
東中野小学校英語活動の取 り組み	音とリズムをシャワー のように浴びせる	担任が自立するための 手がかりとしての電子教材
一面	二面	二面

ユーザーサポート
027-353-1091

m-Boxed やプレーヤーミニント
利用方法のお尋ねや教材
のお問い合わせは電話で受
け付けています

小学校英語の必修化に向けて 阿部フオード恵子先生が指導

小林秀明校長が東京都中野区立東中野小学校に赴任して新しく取り組み始めた英語活動が、いよいよこの九月より学級担任による授業として大きな一歩を踏み出した。T1(主
導講師「学級担任」)が授業をリードしながら、T2(サポート講師)がバックアップしていくというやり方で、朝十五分間のモジュールだ。

学校長が率先して 電子教材を操作

T1とT2でティーム・ティーチングと言う授業手法はすでに多く採用されているが、この学校の工夫は、T1、T2ともに学校の教員で、音声や画像をICT教材(ムービーボックス)で提供していることだ。

この電子教材をもっともよく使いこなしているのが小林校長なので、学校長が自ら設備の設置や操作を担当しているというわけだ。ところで、2年前に英語活動を始めた時は

DVDビデオとALTによる授業として行なっていた。しかしうまく行かず、単に英語が話せるだけのネイティブと、音声や映像が出るだけの電子教材では限界があると考えていたと言った。そうしたときに阿部フオード恵子先生の講習に参加して、「これだ」と感じ、年度の途中にもかわらず、ALTとして授業を依頼。阿部先生も、小林校長の考えを理解し、単にALTとして子どもたちに教えるだけでなく、学級担任が授業を担当できるように、カリキュラムを工夫し、授業の中の教

員の研修を意識的に行なってきた。そうしたなか、この春のこと、阿部先生がチャンツの授業に電子教材・ムービーボックスを使っているのを見ることがとなる。ピンと来たそうだった。

「ムービーボックスを使うと、学級担任による授業をスムーズに始められる」

そこでさっそく1台購入。こうしてこの秋、学級担任によるモジュールでの運用が始まった。

この小学校のモジュールで使われ始めた電子教材・ムービーボックスは、従来のCDやDVDなどの電子教材とどこが違うのだろうか? それを小林校長は「HRTが自立してやっつけていけるよ」にな

るための手がかりになる。「教えている先生は自分でも学習になる教材」。いつもの授業と同じように、子どもたちの顔を見ながらできる」と表現する。



お知らせ

ミニント学習教室は来る十一月九日に、第1回児童生徒英語教師研修セミナー(群馬)を開催します。東京から、小学校英語の第一人者阿部フオード恵子をお招きし、電子黒板を利用した電子授業の最先端を紹介するワークショップです。

二面下段にお得情報

主催・ミニント学習教室
表題・音とリズムを大切に
した小学校英語
セミナー/マルチ
メディア電子授業
の指導と実践
日時・十一月九日(日)
場所・育英短期大学
(群馬県高崎)

音とリズムをシャワーのように浴びせる

電子教材の諸要件 その3



連載

今回のテーマは音とリズム。雀百まで踊り忘れずの通り、小さいうちに、きちんとした発音とイントネーションを入れておくことが肝要となる。

ところが「英語嫌いをつくらないために楽しむことを第一に考える」などと言つて、もっとも基本的な反復練習を嫌う風潮がある。そう言う人たちには

電子教材の利用が反復練習を楽しいものにする。たとえばマイイングリッシュの子どもたちは「朗読マザーグース」や「フォニックスライム」のライム（脚韻）の利いたリズムミカシヤワーのように浴びながら、楽しく反復練習している。要はやり方次第。

1 導入

プロジェクタの電源が入りスクリーンに大きく映し出されてくる。子どもたちは「今日は何だろう」とわくわくし始める。「復習だよ」と言つても、落胆する子は不思議と一人もいない。それは、みんなと一緒に声を出すのが楽しいからなの

ひとたび、英語のリズムが入ってしまつと、まったく新しい朗読や曲でもさつさと馴染んで、声を出し始めるようになる。でも、習い始めたばかりの子の場合はいきなりは無理なので上手に段階を踏んでいくのがコツ。たとえば・・・

まずは手拍子でリズムを刻む次にラララと声を出す

それから1フレーズごとにリズム＆スピークそれがうまく行き始めたら全曲通して声に出す

こうして一ヶ月に1曲ずつでも口ずさめるようになると、持ち歌が増えることが楽しみとなつてくる。

生徒の年齢に応じた内容のある作品選びと、知的好奇心を引き出す切り口で提供するのが大切なポイント。このあたりのことは、11月9日の英語セミナー in 群馬で取り上げるので、学び取っていただきたい。

2 定着・活用

朗読やチャントは1本で30秒から1分程度で、長くても3分が限度。音楽の時間に歌つたり演奏するのと同じで、演じるのが活用であり定着作業になる。オーディオビジュアルな電子教材のもつとも得意とする分野である。

反復練習を楽しくすること・・・それが電子教材の必須の要件である。

課題は学級担任の育成

これからの課題は、学級担任（HRT）の育成です。HRTは自立していかなければならない。担任が主体的に担わない限り、小学校の外国語活動は成り立たない。ALTが35時間入つたとしても、担任が主導する必要もある。阿部フオード先生は単なるALTではない。行田でやっているように、子供達の英語活動に現役で関わりながら、先生達の育成もしている。途中で教師研修

も含めてやっている。

次の授業までモジュールでつなぐ

年間十回の授業を均等に入れてくれているので、1回終わつたら、次までの間に私たちが

担任が自立するための手がかりとしての電子教材



東中野小学校長 小林秀明（談）

復習をしていく。十五分のモジュールを使いながら朝の活動を入れていくことで、次のALTの授業へとつながっていく。

も、この電子教材だと、ネイティブの声で質問も出てきて、答え方もわかる。教えている先生は自分でも学習になるので、子どもたちに

も伝えることができようになる。

今度の10月27日には自分たちでプログラムを作り、自分たちがリードしてやつていくことにしている。

この電子教材ムービーボックスは、HRTが自立してやつていけるようになるための手がかりとなる。これがうまく機能していくと、全部でなくても、年間10回ほどALTがいれば、あとは自立したHRTがこの電子教材を使うことにより、教員が主体的に取り組めるようになっていくと思う。

（談）

11・9 英語セミナー in 群馬



お得情報

チケットを事前に購入すると、33%割引の2,000円とお得。詳しくは以下のサイトで。

http://www5b.biglobe.ne.jp/~mint_hs/1109/

会場は関越道高崎インター降りて5分の育英短大

英語セミナー in 群馬